



「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾
**全国縦断アピールリレーから
 労働者保護ルール改悪阻止全国統一集会
 12.5連合千葉集会 開催する!**

「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾として、9月25日を皮切りに、南は沖縄、北は北海道から12月5日の全国統一集会に向け、全国縦断アピールリレーを開催しました。

連合千葉は、11月18日に連合茨城からのタスキをJR柏駅デッキにて受け取り、JR千葉駅、JR成田駅、JR津田沼駅、JR船橋駅と、構成組織・地域協議会の協力を得て、「生涯派遣で低賃金、派遣法改悪にNO」を軸に駅頭にて訴え、世論喚起に取り組みました。そして、11月20日に連合埼玉へタスキを繋ぎ、12月5日の全国統一集会を迎えるました。

12月5日の連合千葉集会は、253名の参加により、蘇我勤労市民プラザにて開催しました。インターネット中継でタスキリレーのアンカーのゴールシーンや各地方連合会の取り組みが配信され、全国の地方連合会に集う仲間の皆さんと情報を共有し、さらなる阻止行動への決意を固めました。

その後、連合千葉鈴木会長の「なぜ、労働者保護ルール改悪阻止に向けた取り組みが必要なのか?」の挨拶に続き、民主党千葉県連の田嶋代表、社民党千葉県連合の小宮代表からそれぞれの党としての考え方や今後の取り組みについて報告がされました。

今回は廃案となりましたが、今後の動向を注視しつつ、継続的な取り組みの必要性を確認しあう集会となりました。



NEWS

れんごうちば

日本労働組合総連合会
 千葉県連合会(連合千葉)
 発行人 林田博史 編集人 斎藤政洋
 〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
 千葉県教育会館 新館6階
 TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023
 URL <http://chiba.jtuc-rengo.jp/>
No.156 2015年1月

社会の公正を求め
**「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け全力を尽くそう!
 2015年 連合千葉 新春の集い**

新年のご挨拶を申し上げます。皆様方のこの一年のご活躍と希望に満ちた年でありますよう心より祈念申し上げます。

昨年末の衆議院選挙では、短期決戦とはいえ連合千葉に結集する仲間の総力を挙げた取り組みを展開することができました。結果は大変厳しいものとなりましたが、構成組織・地域協議会の皆さんのご尽力に改めて感謝申し上げます。

私たち連合は、1989年(平成元年)に結成されてから四半世紀を経て現在に至っています。この間、私たちは、経済や社会が目まぐるしく変化する中、急速に進行する少子高齢化社会に対応していくために、すべての働く人たちの雇用・労働条件の維持・向上、社会保障制度、教育・環境など「暮らしの安全・安心」に関わる政策の提言や労働組合づくり、東日本大震災の復興支援など様々な重要課題に積極かつ果敢に取り組んでおります。

現在の日本経済は、物価上昇・景気回復局面にあるといわれていますが、あらゆる局面での格差の拡大、二極化が続いているわけあります。とりわけ、巨大与党は経済成長を最優先に、全ての働くものに犠牲を強いられる「労働者保護ルールの改悪」に向けた法改正を実行してくるでしょう。また、国の最高規範である「憲法」を蔑ろに、戦後70年にわたる「平和国家」としての歩みを大転換しようとする検討論議が極めて強引に進められてくるものと考えます。

これらの状況を踏まえれば、「今の政治は、私たちが望む真の姿なのか」を真剣に問いかねる必要があります。巨大与党勢力に対峙していくためには、労働組合勢力の強化・拡大や自らの力量を更に高めていくことが求められているものと考えます。

現下の政治情勢を見れば、圧倒的な巨大与党の思惑どおりに事が進む極めて危険な状況にあることは皆さんもお判りだと思います。

私たち、連合に求められている使命・役割は、連合結成の原点である社会の公正を追い求め、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて取り組むことあります。

また、職場第一線に目を向ければ、パート・有期契約社員・派遣社員が増している現状を捉え、更なる組織化・組織拡大を極めて重要な取り組みとして位置づけ、一定の前進を図らねばなりません。とりわけ、今、2015春季生活闘争は労働組合の社会的責任が大きく問われる闘いです。格差是正と暮らしの底上げのために、構成組織は月例賃金に拘ると共に結果が求められるのです。

非正規の皆さんのが待遇改善や男女間格差のは正など、「働く人への投資」を基本に労働組合の存在価値を高めながら労働条件の改善を進めつつ、日々懸命に頑張っている職場組合員の頑張りと期待に応えるため、目に見える取り組みを展開して頂きたいと考えます。

さて、今年は「東日本大震災」から、早、4年目を迎えようとしていますが、未だに本格的な復興・再生には程遠く、被災地・被災者の苦難は続いております。

私たちは決して震災を風化させず、継続した支援の活動を連合本部や連合関東ブロックの仲間と連携して進めていくことを改めて誓いたいと思います。

今年も、連合千葉に結集する仲間に取り巻く情勢・環境は、大変厳しい変革の波が続くものと想定されますが、労働組合が社会から期待され、共感を得る運動を追及・具現化していくとともに、役割と責任、職場での存在価値と信頼を更に高めるとともに、連合に結集する仲間の皆さんとともに運動的使命・役割を果たしていくことが大切です。

当面する2015春季生活闘争、第18回統一地方選挙、組織拡大をはじめとした様々な課題について、連合千葉は皆さんと力を合わせ、全力を挙げて頑張り抜く決意を込め、新年の挨拶とします。



連合千葉 会長 鈴木 光

連合千葉
2015年

「新春の集い」 盛会に開催!

2015年1月7日(水)ホテルポートプラザちばにおいて、約370名の参加のもと「2015年 連合千葉新春の集い」を開催しました。主催者を代表しての鈴木会長の挨拶に続き、ご来賓としてご臨席を賜った連合本部小川副事務局長、佐藤千葉県商工労働部長、小澤千葉労働局長、花田千葉県経営者協会会长、民主党千葉県連田嶋代表、社民党千葉県連合小宮代表より、ご挨拶を頂戴いたしました。

ご来賓の挨拶終了後、連合千葉鈴木会長、連合本部小川副事務局長、熊谷千葉市長、黒河千葉県労働者福祉協議会会长、議員団会議天野会長による鏡開きを行い、連合千葉西藤副会長の発声により乾杯を行いました。

乾杯後、第18回統一地方選挙立候補予定者と地方議員の紹介、さらには地域協議会の紹介を行い、その後の歓談は、参加者同士の年始挨拶の場となりました。集いの最後には、鈴木副会長から1年間の決意の挨拶により閉会しました。



鏡開き



乾杯の音頭をとる西藤副会長



歓談の様子



閉会挨拶に立つ鈴木副会長

青年委員会「第25回委員会」を開催

連合千葉青年委員会は2014年11月30日(日)に千葉県教育会館において、「第25回委員会」を開催しました。委員会では、2014年度活動報告、2015年度活動方針と役員体制を総会代議員32人の満場一致で確認し、最後に篠原新委員長より次年度へ向けた決意表明を行い閉会しました。

また、総会終了後、青年層に積極的な政治活動等への参加を促すことを目的として「政治研修会」を行いました。篠原委員長からの問題提起後、グループに分かれて、「なぜ投票に行かないのか」「どうしたら投票に行くようになるか」について熱心にディスカッションを行い、参加者それぞれの立場で政治について、今一度考える機会とすることができました。

【2015年度役員体制】

委員長	篠原 良介(電力総連)
事務局長	中村 博之(自治労)
幹事	垣本 亮(JR総連)
幹事	郭 真樹(航空連合)
幹事	鹿田 周平(県私鉄)
幹事	島津 秀樹(基幹労連)
幹事	杉山 亮(JP労組)
幹事	富田 晓(電機連合)
幹事	松井 純一(自動車総連)
幹事	村上 正博(化学総連)



篠原委員長挨拶



研修風景

女性委員会「第25回委員会・研修会」を開催

2014年11月29日(土)に千葉県教育会館にて、女性委員会第25回委員会・研修会を開催し、11産別、事務局含め計53名(うち女性46名)の参加のもと、2014年度の活動報告、2015年度活動方針ならびに役員の変更について確認しました。

また、委員会終了後、「収納の悩みを解決!自分を変える片づけ術」と題して、「ワーク&ライフィノベーター 代表 韶城 れい(ひびきれい)」氏を講師に招き研修会を開催しました。単に物を片付けるということではなく、片づけることがいかに仕事の効率をあげるのかなど、具体例を交えながらの講演で、今後に活かせる有意義な研修会となりました。

【2015年度連合役員体制】

委員長	谷井 栄子(千教組)
事務局長	国井 雅子(自治労)
幹事	石毛 恵子(情報労連)
幹事	小川 紗璃(電力総連)
幹事	加藤 英子(電機連合)
幹事	桑名 紘子(UAゼンセン)
幹事	小林 香(自動車総連)
幹事	高梨美恵子(JP労組)
幹事	廣瀬 恵子(航空連合)



新役員挨拶



研修会講師 韶城れい 氏



研修会風景